

実態把握表の利用について

磐田市教育委員会

実態把握表の目的

対象児の実態を把握するために作成をする。

巡回相談時に巡回相談員に対象児の実態を知らせるために用いる。

専門家チーム会議に資料として用いる。

実態把握表の配慮事項

全体について

各項目において、学校が現在つかんでいる情報を記入し、無理な記入は避ける。

特に、実態把握表作成のための保護者への無理な聞き取りは避ける。このことにより信頼関係を壊す可能性がある。

保護者情報が少ない又は無いということも一つ情報として大切にしていきたい。

検査結果について

TK式、WISC、K-ABC等の名称を記入する。

実施していない場合は空欄でよい。

生育歴について

相談歴(通院歴)やその診断・指導内容をつかんでいる場合は、生育歴の欄に記入する。

教科について

「聞く・話す・書く・読む・計算・推論」等の観点から見た様子もできるだけ記入する。

実態把握表（例）

学校（園）名	磐田市立 小学校	氏名	Y・K		
学 年	4	生年月日	H8.12.15	記入者	磐田 次郎
検査結果	TK式105				
主 訴	<ul style="list-style-type: none"> ・ ADHDと診断され、薬を服用している。 ・ 自分の考えが通らないと、わめいたり、人に暴力をふるう。 ・ 突然、机の上ののったり、教室から飛び出したりする。 				
保護者の考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ ADHDであることを受け入れ、専門医や学校と協力して、Yが落ち着いた生活を送るために、どうしたらよいか前向きに考えている。 				
家庭環境 家族関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父、母、本人の3人家族 ・ 父親は、単身赴任をしているが、Yとのふれあいを大切にしたいという思いは強い。 ・ 父親のことは、あまり話さない。 ・ 母親はYに対しての指示や手出しが多い。 				
生育歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親が出産後、体調を崩したため、祖母宅で育てられた。 ・ 幼稚園年中時から「ことばの教室」で通級指導を受けた。 ・ 他機関での相談歴はない。 				
学校での様子	対人関係 集団生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いが通りそうな子に対して暴力をふるう ・ 注意されると罵声を浴びせ感情をあらわにする。 ・ 自分の興味のあることは時間を無視して続けようとする ・ 会礼や集会では並ばず、勝手な行動をとる。 			
	学習態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一斉の指示を聞き逃すことが多い。 ・ 個別指示は理解できる。 			
	教科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を描くことが好き。 ・ 理科が好きであり、昆虫が大好きである ・ 本読みが苦手である 			
	その他				
学校での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本読みでは、文節ごせとに線を入れている。 ・ 宿題については、分量を減らして具体的に指示をだしている。 ・ 理科では、個別の課題を提示（スケッチ）し、認める場面を意図的に増やしている 				
本児の長所 興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昆虫の絵は細かなところまで詳しく描き、友達にも認められている。 ・ 担任のみならず学校職員に気軽に話しかけ、明るいあいさつができる。 				

